

東大野球部

New!
メールマガジン

Vol.85

じゅあいてん

寒気日増しにつのり、冷え込みの厳しい季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

東大野球部では選手たちが厳しい冬季のトレーニングによる体力作りに励んでおります。冬の間に各々の課題を克服し、春にはひとまわり大きくなった姿をお見せできるよう精進して参ります。

今後とも温かいご声援、よろしくお願ひします。



僕を変えたあの試合

今回は「僕を変えたあの試合」と題し、選手4名に今の自分に最も影響を与えたと言える、印象深い試合について聞いてみました。

関 正嗣(2年・投手・半田)

僕が今までで一番印象に残っている試合は、高校2年の夏の大会の3回戦です。

この試合は、7回終了時点で5点差で負けていて、とても苦しい展開でした。しかし、8回に5点とり追い付き、9回に1点とり勝ち越して、そのまま勝利しました。試合が終わった時は、勝利したことが信じられず、人生で初めて嬉しくて涙が出ました。

野球は最後まで何が起こるか分からないということをも、身をもって感じた試合でした。このような試合を、夏の大会という大きな舞台で経験できたことは、とても幸運だったと思います。

今でも、終盤負けていて苦しい展開になった時には、この試合を思い出して、最後まで諦めずに頑張っています。



関選手を変えたのは…

2009年夏 愛知県大会3回戦
半田6・5豊橋東



壁矢 健司(1年・内野手・国立)

自分にとって印象に残っている試合のひとつに、中学2年の秋、日大三中との市大会決勝戦があります。1・0で勝利し、優勝を決めたあの試合は、まさしく「優勝」なんてものに縁のなかった自分の野球人生に初めて舞い込んだ栄光でした。

あれ以来「自分達は勝てる」という意識が芽生え、チームは連覇を成し遂げ都大会常連へと躍進できたのを覚えています。

勝ち方を知り、勝ち慣れているというのは接戦を制する大きな力となります。今はオフシーズンですが、春先のオープン戦では勝ちまくって、リーグ戦での1勝に繋がりたいです。

壁矢選手を変えたのは…

2009年秋 町田市中学校秋季大会決勝
町田市立第二中1・0日大三中



相良 映介（1年・投手・駒場東邦）

「僕を変えた試合」は高2の4月の練習試合です。半年ほど痛めていた肩が治ったばかりだった僕は、力任せのピッチングはせず、緩急や打者の手で動く球を駆使して、どうやったら打者を打ち取れるか考え続けました。それが見事にハマり、この日は接戦をモノにしました。

野球を始めた頃からずっと、「試合を楽しめ」と言われ続けてきましたが、ミスをするのが怖くて試合に出るのが大嫌いでした。ですが、この試合を経て相手と勝負することが好きになりました。試合で良い思いをするために練習に真剣に取り組みようにもなりました。



相良選手を変えたのは…

2010年春 練習試合

駒場東邦6・2早大学院



棚橋 夏彦（1年・外野手・海城）

「僕を変えたあの試合」という今回のメルマガのテーマを聞いて、真っ先に思い浮かんだのが高3の春大会の初戦です。迷う余地なしです。

3・5で負けていて迎えた9回の表、3番がショートゴロに倒れ、次の4番がスリーベースを打ち、僕の打席が回ってきました。僕もなんとスリーベースを打ちました。チームは大いに盛り上がり、ここまでは僕はヒーローだったのですが、なんと調子に乗りすぎてキャッチャーからの牽制球でタッチアウトになってしまいました。

あの時から、成功しても調子に乗らないということとを肝に銘じています。

棚橋選手を変えたのは…

2012年春 東京都大会一次予選1回戦

海城4・5都武蔵村山



編集後記

今回の特集はいかがでしたか。

選手はそれぞれが、自分を変えたとも言えるほどの忘れられない試合を持っています。勇気であったり、教訓であったり、そこで得たものはそれぞれにとってかけがえのない財産となっています。

昼夜の寒暖差が大きい日々が続いておりますので、皆様も体調を崩さないようご自愛ください。

今後とも東京大学野球部をよろしくお願い致します！



お問い合わせ先

〒113-0023

東京都文京区向丘1-5-9 一誠寮

TEL&FAX 03(3811)5100

メールアドレス office@tokyo-ubc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望がございましたら上記連絡先までご連絡下さい。

